

# 無麻酔歯石除去

---

## 【注意点】

ご利用に際しては、「無麻酔歯石除去施術に関する同意書」にご同意をいただきます。

- ・ワクチン接種後、一週間以内はご利用をお断りしています。
- ・心疾患（心雑音）、てんかん、骨・関節系の持病や手術歴があるワンちゃんには施術を行うことができません。
- ・病例：椎間板ヘルニア（首・胸・腰）、環軸亜脱臼(首)、無菌性大腿骨頭壊死症(レッグペルテス)、股関節形成不全、前・後十字靭帯断裂、変形性関節症、変形性脊椎症、ウォブラー症候群、馬尾症候群、呼吸器疾患（気管虚脱、気管狭窄）、会陰ヘルニアなど
- ・性格的に難しいワンちゃん（口を触らせてくれない、ストレスから呼吸がうまくできなくてチアノーゼを起こすなど）や、一部犬種（短頭種など）は、施術ができない場合があります。
- ・歯石の付き具合や歯肉炎の度合い、また当日の体調などにより、数回の施術が必要な場合があります。
- ・ぐっと噛みしめて口を開けてくれない場合は、スケーラーが届かず、完全に取りきれません。
- ・裏側や奥歯のくぼみ、歯周ポケットの深いところは、無麻酔での処置ができないことがあります。
- ・歯石の沈着が重度で歯槽膿漏が併発している場合、抜歯などの全身麻酔が必要な場合は、無麻酔での歯石除去ができないことがあります。